

米国の未臨界核実験に抗議する決議

米国は2024年5月16日、ネバダ州の核実験場において未臨界核実験を同月14日に実施したことを明らかにした。さらに、同国エネルギー省の国家核安全保障局高官は「未臨界核実験の頻度を高めることを計画している」と表明した。

本市議会は、2000年以降、合計9回にわたり同様の核実験が実施された際にも嚴重な抗議を行ってきたところである。

国連では2021年1月に核兵器禁止条約が発効し、恒久平和の実現に向け世界が大きな一歩を踏み出した。米国の未臨界核実験実施は、誠に遺憾である。

被爆国である我々日本国民は、この事態を到底容認することはできない。平和都市宣言を行っている東大和市民を代表して、今後一切の核実験を中止するよう嚴重に抗議するとともに、「核兵器のない世界」の牽引役として、世界平和へ向けた取組に邁進されるよう強く要請する。

(議決日) 令和6年6月21日

(送付日) 令和6年6月27日

(送付先) 駐日米国大使